



主要通貨相場動向



相場回顧 株式市場の浮き沈みが相場に影響

BTCは先週より下落相場が続く中、1月米雇用統計の結果を受け大幅下落となった株式市場の影響により、世界的なリスクオフの動きから週初売りが強まった。BTC=65万円付近で底打ちとなって以降、株式市場の回復とともに価格を戻す展開となったが、株式市場のボラティリティへの警戒感から上値は重かった。また、週後半にかけてはBTC価格がある程度回復したことで、アルトコインを買戻す動きも強まっており、中でもXRP、BCHは他社提携や開発サイドの動きといった買い材料も見られたことから価格を大きく伸ばした。

先週の主要トピックス

- ・中国当局、取引所含めた仮想通貨海外サイトへのアクセス禁止か。(2/5)
- ・インド、仮想通貨決済禁止の法的措置を準備と一部メディアが報道。(2/6)
- ・SECやCFTC参加の仮想通貨取引規制に関する公聴会が開催。(2/7)
- ・盗難NEM、匿名通貨DASHまたはダークウェブで資金洗浄の疑い。(2/7)
- ・金融庁、coincheck以外の取引所へも随時立ち入り調査へ。(2/8)
- ・DMM、石川県金沢市にて仮想通貨マイニングファームの運営を開始。(2/9)
- ・金融庁、みなし業者の営業可能期間を限定する方針へ。(2/10)
- ・Ripple社、中東大手送金業者UAExchangeとの提携を発表。(2/10)

	BTC/JPY	ETH/JPY	XRP/JPY	BCH/JPY
15-Jan	811,597	80,064	77.40	105,917
16-Jan	782,895	79,237	76.77	98,707
17-Jan	900,961	90,020	85.21	110,102
18-Jan	919,307	90,414	82.92	133,166
19-Jan	917,909	92,902	0.00	140,982
20-Jan	948,502	95,870	120.83	139,572
21-Jan	924,770	93,531	106.93	140,015
前週末比	0.40%	▲ 0.40%	20.00%	14.28%

※終値を日本時間 0:00 とする

今週の相場予想

BTCは軟調な推移となるか。買い優勢となり再度100万円回復に挑戦する場面も見られるだろうが、アルトコインに一部資金が流れ上値の重い展開が続くと予想する。株式市場の動向にも引き続き注視が必要である。また、今週2/13(火)にはcoincheckの円出金が再開され、この資金がどう動くのかにも注目したい。他の取引所に移り通貨購入資金として利用されれば、相場押し上げ要因にもなり得るだろう。

その他アルトコイン相場動向



アルトコイン相場 匿名3通貨、LISKが強い動き

アルトコイン相場はBTC下落の影響により多くの通貨がフィアット建てで小幅下落となる中、匿名3通貨、LISKがフィアット、BTC建てとともに上昇した。匿名通貨に関しては、盗難XEMの資金洗浄を巡って注目を集めたこと(あるいは実際に資金洗浄目的の取引が増加)が影響していると思われる。DASHは仮想通貨決済処理サービスBitrefill対応も買い材料として挙げられる。LISKはbitflyer上場後買い優勢の展開が続いており、coreアップデートやリブランディングへの期待感も相場を押し上げているか。

・本資料は情報提供を目的とし、弊社が信頼でき、正確であると判断した情報に基づき作成されていますが、弊社はその情報の正確性を保証するものではありません。
 ・記載された意見や憶測等は作成当時の筆者の一見解を示すものであり、記載された内容を投資等にご利用になる際には、ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。

